

自由意見（集計結果）

多くのご意見をいただきました。一つ一つのご意見を重く受け止め、真摯に対応してまいります。いただいた全てのご意見を掲載し、学校としての回答をお知らせします。

- 1 各科目の先生も話したいですが、担任の先生だけではなく。
- 2 小学校で英語が必修なのに、アルファベットやローマ字の練習を中学校の英語の宿題として出すのは、いかがなものかと思えます。子供のレベルに合わせた教育をしてほしいです。子供がやる気をなくしてしまいます。
- 3 いつも大変お世話になっております。息子は小学校時代に比べて、学校での様子を話してくれることが増えました。

今日、とある先生から「君たちの小学校からは私立中学に半分くらいの子たちが進学してる。考えてない子たちがここに残ってる」という趣旨のことを、叱られている最中に言われたと聞きました。

前後のこともあるとは思いますが子供の言うことを100%信じるわけではないですが、うちは子供の適性を考えて区立を選びました。もしこのようなことを言う先生がいらっしゃるのなら、だからみんな必死になって私立に行かせようとするのだと自覚してほしいと思えます。

良い先生方が大半だと思ひ、日頃の先生方のご対応にはとても感謝しています。

先生との楽しいやりとりなども話してくれますので、このようなことをお伝えすることで、息子に何か影響することだけが心配です。
- 4 子ども達の意欲が低下しているなあと見受けられます。いつまで黙食や友達と騒がないなど立前上の対策を続けますか？学校は学ぶだけではなく、友達と楽しく交流する場でもあります。教職員がしっかりと免疫のことや、ウイルスのことを学び、マスコミやテレビではなく、公的機関の発表するデータをみて、コロナが特に子ども達にとって恐ろしいウイルスではない！とすることを知り、学校を楽しい場に変えていって欲しいと思えます。

自分達の立場を守り、子ども達の健康と未来をなくすことがないようにどうかどうか、よろしく願い致します。
- 5 給食が、もっと美味しくなると嬉しいです。たくさん食べて身体を大きく丈夫にしたいです。
- 6 土曜授業を無くし、平日増やして欲しい。
- 7 学校へ行く機会もなく、他校に比べて SNS の更新もなく、学校の様子があまりわからない。同じ区立の学校がやっているのだから、できないはずはないと思う。
- 8 学校へ行くと、すれ違った生徒が気持ちよく挨拶してくれて、とてもよい学校だと好感が持てます。生徒にとっても挨拶はとてもよいことなので、続けてほしいと思えます。
- 9 社会の授業の改善を希望します。

教科書の代わりに配られるプリントの内容が、中学のレベルを超えています。

早急に調査、対応してください。
- 10 今年も大変お世話になりました。ありがとございました。

コロナ禍での授業は大変だったと思いますが先生方のお力でオンラインでも授業が出来て親子共々感謝しております。ありがとございました。

- 11 普通の授業や各先生方の日頃のお仕事には敬意を表します。
しかし、六中らしさを何で表すのか？について、基本的な人間としての意識をもっと際立たせて欲しいものです。
タブレットは、配布を目的にするのではなく、「活用と成果」にもっと強くインボルブして欲しいものです。まだ先生たちの中で「中学生にどの様に均質に活用させるか？」「親にどう参画させるか？」など、もっとトライさせることを望みます。
集中モードやスクリーンタイムを活用して「ネットや Youtube を無駄に見せず、プログラムやクリエイティブに対して取り組める様、課題やコミュニケーションに日々使える「道具」に昇華させてください。先生全体のスキルアップなど、先生達の IT リテラシーを上げて行く努力を惜しまないでください。
よろしくをお願いします。
- 12 学校公開に行くと（先生によって違うようですが）授業中に立ち歩いたり、大声で話している生徒が目立ち、気になりました。
- 13 個人的な意見ではありますが、子供が学級委員など責任がある立場での他の生徒とのトラブルがないか心配になります。あまりに酷い学校生活態度等（お菓子を食べている、携帯電話を覗いている…etc）で注意などしなければいけないが、生徒同士だと、今の世の中物騒なので事件沙汰にならないか不安もある様です。
先生に告げる事は簡単ですが、その後、その事で何か言われたりするのを嫌がり伝えられない時もあるそうです。
- 14 月間予定表や給食献立表なども生徒への配布と同時に、がくぷりにアップしてもらいたいです。
出先で子供の帰宅時間や夕食被りなどが確認できるので便利だと思います。
- 15 家ではほぼ SNS で遊んでいるので、学習の楽しさが伝わるような学校であって欲しい。
- 16 同じ区立中学のなかで学力の差がありすぎる状況はいかかなものかと思います。
もう少し差を縮めるような対策があっても良かったのではないかと思います。
生徒が自発的にいろいろな事を考え、学校運営に関わっていくような取り組みがなさすぎるのも意欲低下のひとつに思えます。
- 17 下校途中にジャージ姿のまま食べ歩きしながら帰っている女子生徒の集団をみかける。
- 18 テスト範囲表が分かりづらく、授業内のみで公開する教科もあり家庭学習の支援が非常にし辛い。後で見てもキチンと分かるような内容の書類にして欲しい。試験の評定の前に範囲までチャレンジさせるのはやめて欲しい。また英語のクラスごとでレベルも違うのは分かるが、試験作成教員のクラスの方が内容を知っている様な事にならない様にして欲しい。
- 19 放課後スタディーは実質なくなっている？か不定期のようなので、放課後の学習の場を充実させて推奨して頂きたいです。廊下は寒さ暑さあるので、空き教室も開放して欲しい。
- 20 高校の進路について改善が必要。
- 21 いつも本当にありがとうございます。
- 22 学校 HP の年間行事予定表をタイムリーに更新してほしかったです。運動会が延期になったら決定した時点で更新して掲載し、常時最新情報が見れるようにしていただけたら便利でした。

回答

貴重なご意見、ありがとうございました。

一つ一つのご意見にお答えする形ではなく、内容をまとめた形で回答させていただきます。

学校運営について

今年度から、生徒と共に学校運営を考える「六中を考える会」を開催しています。参加者は、生徒会役員と校長、教務主任、生活指導主任です。この取組を受けて、生徒会では意見箱を充実させて全生徒から意見を吸い上げています。この会は学期に1回開催されており、iPadの使用制限時間の延長については、この回から出た生徒の意見を全校生徒に確認し、区へ要望して実際に変更されています。これからも、校則に関する事、学習に関する事に生徒を参画させ、自分のこととして考える生徒を育てていきたいと考えています。

また、新型コロナウイルス感染症にかかる学校運営については、様々な考えがあることは承知しています。学校としては区のガイドラインにしたがって運営を進めております。ご理解願います。

なお、土曜授業日に関しては、区で回数が決められており、本校の土曜授業日は、区で定めている下限で行っております。

情報発信について

生徒からの要望、保護者の方からのご意見をもとに1月11日から六本木中学校公式Twitterを始めました。様々な考えがある中で一方通行ではありますが、学校の状況を発信してまいります。

また、月行事予定表や給食の献立表についても「がくぶり」への掲載を始めました。ペーパーレスで配信できるので、今後もこのような形で進めてまいります。

また、学校HPについては、タイムリーに情報を掲載することができなかった部分もありました。申し訳ありませんでした。改善してまいります。

学習指導について

授業内容等については、ご意見の内容を確認し改善に努めています。直接教科担当に説明させることもできます。必要であれば、連絡してください。

授業態度については、生徒同士で注意することは適切な方法ではなく、授業担当者が責任をもち把握すべきことです。必要に応じて複数の教員が入って授業を進めるという方法も取っています。

また、放課後STUDYについては、参加者が少ない日もあり、低迷しているように感じられるかもしれません。本校では、自学自習で進める放課後STUDYを、家庭学習の充実や学力向上へとつながる大切な取組として位置付けており、タブレットの効果的な活用も含め、来年度の指導の重点として取り組んでまいります。

生徒指導について

あやまちは、厳格に指導し、成長を促してまいります。その上で、正しいことが支持される学校でありたいと考えています。生徒も、正しいことをした生徒が不利益を被ることのないよう最大限に注意を払って指導しております。様々な葛藤の中で生徒は成長していきます。これからも、生徒の安心・安全をしっかりと担保したうえで健やかな成長を支援してまいります。

その他

教員の不適切な発言については、確認し、是正してまいります。

生徒たちは、生徒同士の仲が良く、教員に対しても気軽に相談できる点を本校の良いところと考えています。今後も、この校風を失うことのないように努めます。

進路指導については、生徒・保護者の考えを尊重し、丁寧に相談を重ねて進めます。コロナ禍において入学試験の手続き等についても大きな変更が施されていますので、保護者、学校間の情報共有が大切となっております。

タブレット端末については、効果的に活用できるよう検討を重ね、使用しています。今後も、機能拡充を図り、必要不可欠なコミュニケーションツールとしての活用を図っていきたいと考えています。そして、最終的には、数ある文房具の一つとして適切に使えるようにしていきたいと考えております。